

■電池交換

1. この製品は電源に、S 006P・9ボルトの電池を2本使用しております。
2. 効果が浅くなった場合又は音が歪む場合は電池を交換して下さい。尚、交換電池は、楽器専用のマクソン・ビックパワーを、楽器店でお求め下さい。
3. 電池交換は底面のビス4個をプラスドライバーで取ることにより底板がはずれます。尚、ドライバーはビスの破損を防ぐため、ビスの頭に合ったものを必ずご使用下さい。
4. 電池は必ず所定の位置に入れて下さい。

マクソン・ビックパワー
楽器専用電池

5. ACアダプターを使用する場合でも電池は接続しておいて下さい。プラグが抜けても瞬時に電池に切り替ります。



ACアダプター「AC-118」

■FL-303主な規格

コントロール	: スピード ウィデッス レジン
スイッチ	: ノーマル/エフェクト
入力インピーダンス	: 470K Ω
出力インピーダンス	: 10K Ω
入力換算ノイズ	: -80db(入力ショートIHF ・Aカーブ)
最大入力レベル	: -5dbm
増幅率	: 0db
使用半導体	: IC 5個 トランジスター 7本 ダイオード 1本
消費電力	: 160mW
電源	: S 006P・9Vバッテリー 2本 又は外部電源・AC-118(オプション)
外型寸法	: 60H×120W×150D
重量	: 530g

規格および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

FL-303 FLANGER

取扱説明書



MANUFACTURED BY NISSHIN ONPA CO., LTD.

株式会社 日伸音波製作所

■はじめに

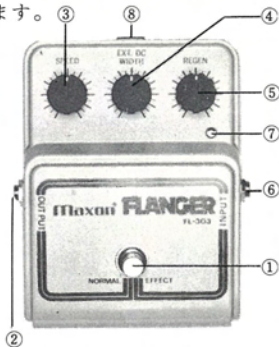
このたびは、マクソン「フランジャー・FL-303」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。マクソンは、つねに新しい時代の要求と、皆様のご意見を反映した製品企画にもとづいて、よりすぐれた製品をお届けできるように心がけております。必ずご愛用者皆様のご満足をいただけるものと信じております。ご使用前に、この説明書をよくお読み下さい。

■特長

- ① FLANGER・FL-303 は、今までのフェイズ・シフターとは全く異なった、アナログ・ディレイ回路の採用により画期的なフランジング・サウンドをクリエイトできます。
- ② 低音域から高音域まで、広レンジにわたって重厚で深みのある効果が得られるため、特に今までのフェイズ・シフターでは効果の浅かった、ベース・ギター、単音キーボード等でも充分ご使用いただけます。
- ③ 広いダイナミック・レンジを持っていますので、エレキ・ギターをはじめとし比較的レベルの大きいキーボード、ミキサーにもご使用いただけます。
- ④ ロー・ノイズですので、レコーディングにもご使用いただけます。
- ⑤ エフェクトインジケーターが装備され、演奏中などにミスセットがありませんし、又インジケーターはバッテリーチェッカーも兼ねています。電池の交換時が一目でわかり、常に安定した動作で使用できます。
- ⑥ 9ボルト・バッテリー2本で動作し、コンパクトなアルミダイカストケースにまとめてありますので、持ち運びに便利です。

■各部の名称とはたらき

- ① ノーマル/エフェクト切替スイッチ
足で踏み込む動作をくりかえすことにより、ノーマルとフランジング・エフェクトに切替ります。
- ② アウトプットジャック
フランジャーの出力ジャックです。通常ギター・アンプ等の入力と接続します。
- ③ スピード・コントロール
フランジングのオート・スイープの速さを調節します。右に廻すに従ってスピードが速くなります。
- ④ ウィデッサ・コントロール
フランジングのオート・スイープの広さを調節します。右に廻すに従ってスイープレンジが広がります。
- ⑤ レジン・コントロール
レジンのレベルを調節します。右に廻すに従ってレベルが大きくなり、効果を強調します。
- ⑥ インプットジャック
フランジャーの入力ジャックです。ベース・ギター、エレキ・ギター、E、キーボード等の楽器の出力を接続します。尚、ジャックにプラグを接続するとフランジャー回路に電源が入ります。
- ⑦ インジケーターは①のフードスイッチがエフェクトにセットされたとき点灯します。
※キーボードはバッテリーチェッカーも兼ねていま

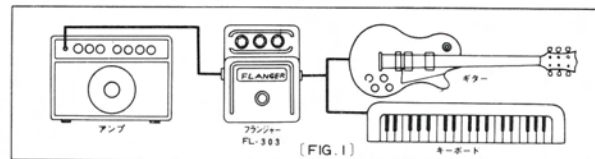


す。点灯しなかったり、非常に暗いときは電池を交換して下さい。

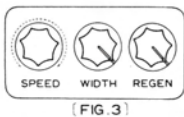
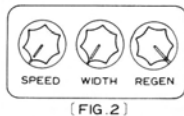
- ⑧ 外部電源端子は別売の専用ACアダプター「AC-118」を使用して下さい。(DC 18V)

■操作方法と簡単なセッティング例

- ① 各コード類をFIG. 1のように接続し終わったら、ノーマル/エフェクトスイッチを切替えてエフェクトにセットします。スピード・ウィデッサ・レジンの各コントロールは任意にセッティングして下さい。



- ② コードワークでプレーする場合、FIG. 2のようにセッティングするとオーバートーンが変化した固定フランジングサウンドが得られます。
- ③ ベース・ギターや単音キーボードでプレーする場合、FIG. 3のようにセッティングするとより効果の深いフランジングサウンドが得られます。スピード・コントロールは任意です。



- ④ FIG. 4のようにセッティングすると、クセのないフランジング・サウンドが得られます。スピードコントロールは任意です。

